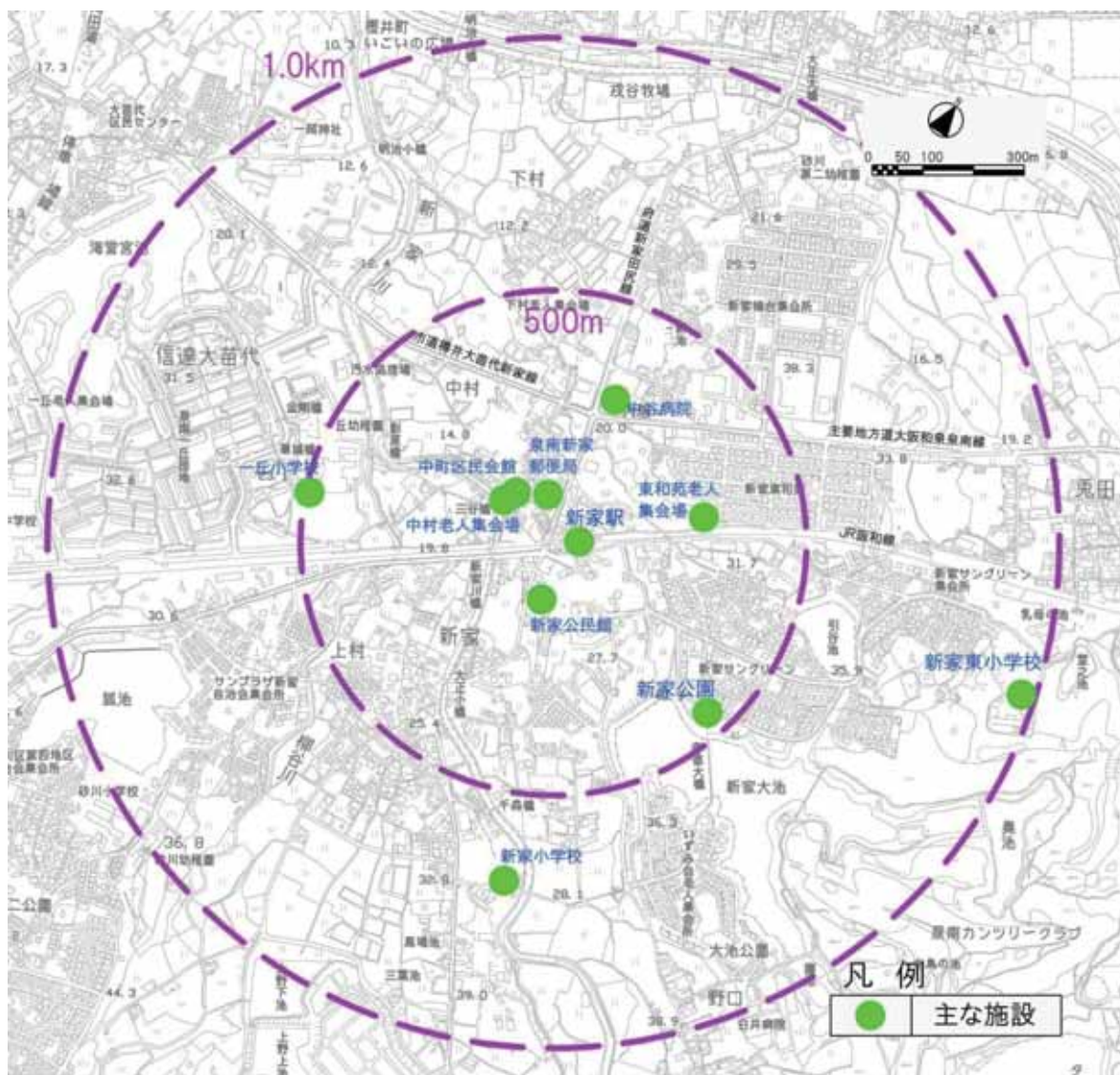


3. 重点整備地区及び生活関連施設、生活関連経路の設定

3-1. 新家駅周辺の主な施設立地状況

新家駅を中心とした半径 1km 以内には、新家公民館などの公共施設の他、郵便局などがありますが、公共施設は規模が小さいものであり施設は少ない状況です。



3-2. 重点整備地区の設定

バリアフリー基本構想を策定するにあたり、バリアフリー化事業を重点的・一体的に実施する地区として、重点整備地区を設定する必要があります。

バリアフリー法第2条第21号と基本方針三の2において、重点整備地区の要件等は次のように定められています。

- 1) 生活関連施設があり、かつ、それらの間の移動が通常徒歩で行われる地区
 - ・ 特定旅客施設又は特別特定建築物（官公庁施設、福祉施設等）がおおむね3以上あること
 - ・ 生活関連施設が徒歩圏内にあり、面積約 400ha 未満
- 2) 生活関連施設及び生活関連経路についてバリアフリー化事業が特に必要な地区
 - ・ バリアフリー化事業が重点的・一体的に実施される地区
- 3) バリアフリー化の事業を重点的・一体的に行うことが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切な地区
 - ・ 都市機能の増進を図るうえで有効かつ適切であると認められる地区
（都市機能とは、高齢者、障害者等に交流と社会参加の機会、消費生活の場を提供する、勤労の場を提供する機能などです。）
- 4) 境界の設定等
 - ・ 境界は、字界、道路、河川、鉄道等によって明確に表示し定める

この内容を踏まえ、以下の考え方をもとに重点整備地区の設定を行いました。

（1）重点整備地区の考え方

- ・ 新家駅を中心とした徒歩圏内（約 1 k m以内）とする。
- ・ 多くの高齢者、障害者等が利用する生活関連施設がある。
- ・ バリアフリー化を重点的、一体的に実施する事が可能である。
- ・ 道路、河川、鉄道などの地形地物を境界とする。

（2）新家駅周辺重点整備地区の設定

以上より、新家駅周辺重点整備地区は、多くの高齢者、障害者等に交流と社会参加の機会を提供する「新家公民館」から、主要地方道大阪和泉泉南線付近までとし、図 1-1 に示す約 28ha に設定します。

3-3. 生活関連施設・生活関連経路の設定

生活関連施設には、多くの高齢者、障害者等が日常生活または、社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設、病院、文化施設、商業施設など多様な施設を位置づけることができます。

また、これら生活関連施設を相互につなぐ経路が生活関連経路となります。

この内容を踏まえ、以下の考え方をもとに生活関連施設及び生活関連経路の設定を行いました。

(1) 生活関連施設の考え方

- ・ 高齢者、障害者等だけでなく、多くの人が利用する施設
- ・ 高齢者、障害者等が常時利用する施設
- ・ 泉南市総合防災マップに記載されている指定避難場所

(2) 生活関連施設の設定

生活関連施設は、以下のように設定します。

分類	施設名	選定理由
旅客施設	新家駅	多くの人が利用し、当該地区の中心となる施設であるため。
公共施設	新家公民館 (指定避難場所)	多くの人が利用するとともに、高齢者、障害者等に交流と社会参加の機会を与える場である。また、指定避難場所に位置づけられているため。
	中村老人集会場 (指定避難場所)	
	東和苑老人集会場	
保険・医療施設など	中谷病院	高齢者、障害者等だけでなく、多くの人が利用する施設であるため。
商業施設など	泉南新家郵便局	多くの人が利用するとともに、高齢者、障害者等に消費生活の場を提供する施設であるため。

(3) 生活関連経路の考え方

- ・ より多くの人が利用する経路を選定
- ・ 生活関連施設相互のネットワークを確保する経路を選定

また、現状や経路としての機能及び将来的なまちづくりの動向を踏まえ、生活関連経路を以下の2種類に設定しました。

●生活関連経路

- ・ 生活関連施設の中でも、特に利用者が多い施設をネットワークする経路であり、道路移動等円滑化基準を満足すべき道路

●準生活関連経路

- ・ 生活関連施設をネットワークするための生活関連経路のうち、出来る範囲でのバリアフリー整備を進める道路

◆主な道路移動等円滑化基準（歩道・道路）◆

項目	基準
歩道・幅員	・ 原則、歩道を設ける。 ・ 歩道幅員は 2m以上、又は歩行者交通量が多い場合は 3.5m以上。ただし、地形上の条件などやむを得ない場合においては、1.5mまで縮小することができる。 ・ 自転車歩行者道においては、幅員 3m以上、又は歩行者交通量が多い場合は 4m以上。 ※ただし、地形上の条件など歩道設置が困難な道路においては、当分の間、歩道に代えて車を減速させて歩行者又は自転車の安全な通行を確保するための道路の部分の設けることができる。
勾配	・ 歩道等の縦断勾配は、5 パーセント（約 2.9 度）以下とする。（ただし、地形上の条件などやむを得ない場合においては、8 パーセント（約 4.6 度）以下とすることができる。） ・ 歩道等の横断勾配は、1 パーセント（約 0.6 度）以下とする。（ただし、地形上の条件などやむを得ない場合においては、2 パーセント（約 1.1 度）以下とすることができる。）
歩道の高さ	5 c mを標準とする。
横断歩道等との段差	2 c mを標準とする。
歩道の舗装	雨水を地下に円滑に浸透させる構造とする。

(4) 生活関連経路の設定

生活関連経路は、以下のように設定します。

●生活関連経路

番号	路線名	管理者	区間
①	主要地方道大阪和泉泉南線	大阪府	新家交差点～新家駅
②	市道新家駅宮線	泉南市	新家駅～新家公民館
③	府道新家田尻線	大阪府	歩道未整備区間

●準生活関連経路

番号	路線名	管理者	区間
④	主要地方道大阪和泉泉南線	大阪府	新家交差点～新家東交差点
⑤	市道樽井大苗代新家線	泉南市	新家交差点～新家筋バス停
⑥	市道中村中線	泉南市	主要地方道大阪和泉泉南線～東和苑老人集会場方面
⑦	市道新家駅兎田線	泉南市	新家駅～市道中村中線
⑧	主要地方道大阪和泉泉南線	大阪府	新家駅～新家川橋交差点
⑨	市道下村大口線	泉南市	新家川橋交差点～中村老人集会場

以上より、新家駅周辺重点整備地区及び生活関連施設、生活関連経路などを次のように位置づけます。

[illegible]

3-4. タウンウォッチング実施結果

(1) 実施概要

バリアフリー基本構想の策定にあたり、対象地区でのバリアフリーの課題を具体的に抽出するため、高齢者・障害者の方々や事業者が参加したタウンウォッチングを実施しました。

また、タウンウォッチングと合わせてワークショップを実施し、当日意見のとりまとめを行いました。

○実施日：12月7日（金曜日）

○ワークショップ実施場所：泉南市立東和苑老人集会場

○タウンウォッチングルート（移動距離 約 1.1km）

新家駅（駅調査）～（市道）～新家公民館（Uターン）
～新家駅南踏切～（府道）～新家交差点（Uターン）～（府道）
～（市道）～新家駅北踏切付近～東和苑老人集会場



タウンウォッチング実施状況



タウンウォッチング後のワークショップ



新家地区まとめ

<ルート>

新家駅（駅調査）～（市道）～新家公民館（Ｕターン）～新家駅南踏切～（府道）～新家交差点（Ｕターン）～（府道）～（市道）～新家駅北踏切付近～東和苑老人集会場

■新家駅

【階段・通路】

- ・ホームの幅が狭い。
- ・人が多いと昇り降りの人がぶつかる。
→中央に柵をもうけ進行方向を分ける。
→階段部分のホームの幅を広げると安全になる。
- ・足の悪い人には、階段がきつい。
- ・エレベーターがない
→エレベーターを設置してほしい。
- ・階段手すりは持ちやすい
→階段の真中にも手すりを付けるとよいと思う。
- ・改札前のスロープの傾斜がきつい。（通路傾斜約15%（約8.6度））
- ・改札前のスロープに手すりがない。
- ・通路、夜間の照明が暗く見づらい。
- ・ホームに水道があり、子供が触る恐れがある。
→水道を囲む柵を設ける。

【情報・案内】

- ・ホーム時刻表の数字が小さく、色が薄いため見づらい。
→もう少しわかりやすい色で標示してほしい。
→電光案内の設置工事をしておりもうすぐできる。
- ・視覚障害者誘導用ブロックが整備されているので良い。
- ・駅員さんが不在の時間がある。（12-13時、17-18時）
- ・非常ボタンが設置されていて良かった。

【トイレ】

- ・身障者用トイレが設置されている。
→トイレの音声案内をつけてほしい。
→身障者用トイレに温座、シャワー付便座があればいい。
→トイレに予備の紙があればいい。

【待合室】

- ・待合室が両ホームともない。
→電車の待合室があれば寒暖が防げる。

【改札口】

- ・改札口が下りホーム側にしかない。
→上りホーム（海側）にも改札口をつけてほしい。（踏切を横断しなくても良いので）
→上りホームにも改札口あれば混雑が緩和されるのではないかと。
→上りホーム西側にあるスロープを車イス以外の人も使えるようにすればいい。

■駅前

【歩道】

- ・駅の改札前。舗装がガタガタしている。
- ・歩道がなく、歩行者危険。

【バス乗り場】

- ・コミュニティバス乗り場にベンチを設置してほしい。

【駐輪】

- ・駐輪場が整備されたので不法駐輪がなくなって歩きやすくなった。

■踏切交差点

【踏切歩道】

- ・踏切の歩道が狭い。歩行者、車、自転車が入り交じって危険。
- ・踏切の歩道の路面が、ガタガタである。
- ・駅側にしか歩道がない。
→反対側にも歩道がほしい。

【車道】

- ・踏切が狭く危険。
→踏切の幅を広げてほしい。
- ・交差点、車が多くて危ない
→できれば高架がいい。

【交差点】

- ・信号がなくこわいと感じる。
- ・車が多くて渡りにくい。
- ・車が一旦停止しないので、危険。
- ・車イスでは通れない部分がある。

■市道（駅～新家公民館）

【歩道（路側帯）】

- ・歩道が狭い。
- ・白線、横断歩道の線をはっきりとしてほしい。
- ・道が凸凹である。
- ・溝蓋がない部分がある。
- ・溝蓋に段差があり危険。
- ・溝蓋のグレーチングが広い。
- ・電柱が邪魔。

【公民館前】

- ・公民館に出入りする車が見えにくくて危険。
→カーブミラーを設置してほしい。
- ・コミュニティバス乗り場にベンチがほしい。

【駐輪場前】

- ・駐輪場からの飛び出しが危険。

■府道（踏切～新家交差点）

【歩道】

- ・歩道の狭い部分がある。（85cm）
- ・植込みが歩道へはみ出しており危ない。
- ・歩道上の標識柱や車止めが邪魔。
- ・歩道の横断勾配がきつい。
- ・歩道が凸凹や反射材でつまずきそうになる。
- ・夜間の照明が暗い。
- ・道路と歩道の境界に赤ポール（ゴム製）が設けられていてよかった。
- ・道路と歩道の境界が、黄色い線で示されていて分かりやすい。

【交差点】

- 音声案内がほしい。

■心のバリアフリー

【災害時】

- ・どこにいても、災害時にどのように避難できるか考えておいてほしい。

【障害者への理解】

- ・障害者や高齢者への理解が進んでいない。
→役所等へ高齢者障害者を活用してほしい。

■踏切



歩きづらい踏切歩道



車が多くて危険

■交差点



交通量の多い交差点



車イスが通行できない歩道

■府道（踏切～新家交差点）



歩道が狭い部分がある



植え込みが歩道にはみ出している



歩道が途切れている

■新家駅



スロープ、傾斜がきつい



階段に通行区分がない



身障者用トイレが設置されている



上りホームにも改札口がほしい

■市道（駅～新家公民館）



歩道（路側帯）が狭い



電柱が邪魔



グレーチングの目が粗い

3-5. アンケート調査結果

(1) アンケート調査概要

バリアフリー基本構想を策定するにあたり、市内の鉄道駅を中心とする生活関連施設利用実態を把握するとともに、それに至る経路等バリアフリー上の問題点等について、普段から利用されている市民皆様の意見を伺うために調査を実施しました。主な結果内容については次のようになっています。

1) アンケート調査実施期間及び回収数

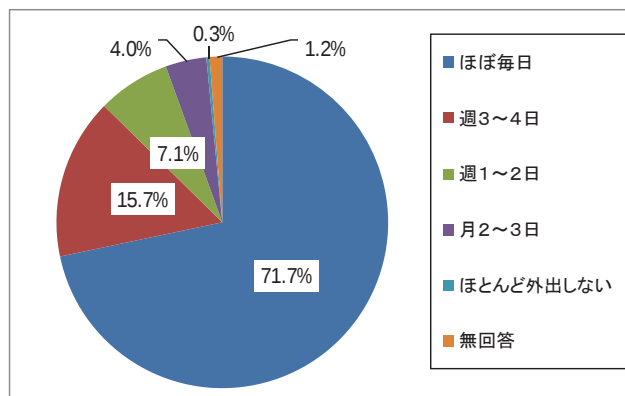
○調査実施期間…平成 24 年 11 月 5 日（月）～11 月 23 日（金）

○回収数…324 票/500 票（回収率：64.8%）

2) 主な調査結果

①. 外出頻度

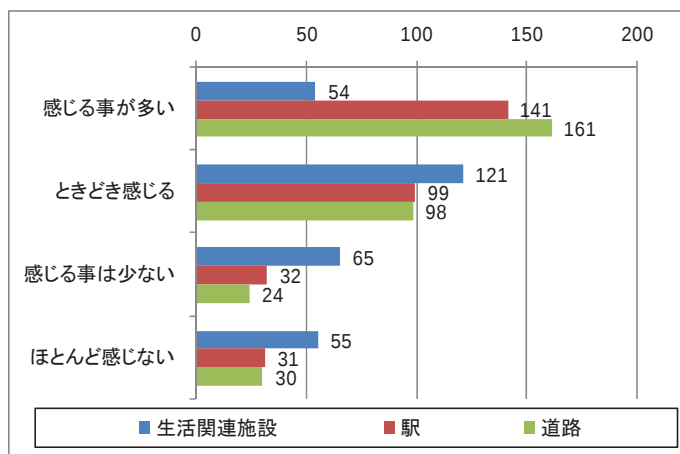
「ほぼ毎日」、「週 3～4 日」合わせて 87.4%となっており、回答は普段から外出されている方の考え方となっています。



②日常生活において行動の妨げとなる障害（以下バリア）を感じる事

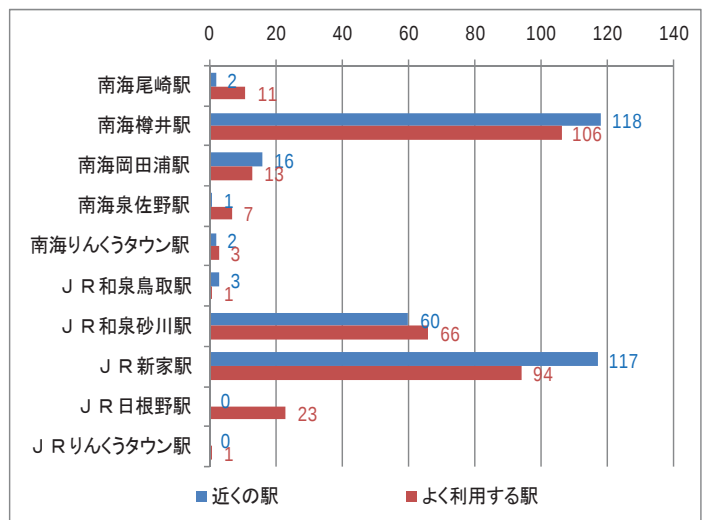
生活関連施設、駅、道路別に見ると、駅と道路でバリアを感じることが多く、道路は約 50%、駅は約 44%の方が何らかのバリアを感じています。

次にときどき感じるは、生活関連施設が多くなっていますが、生活関連施設は、「感じる事は少ない」「ほとんど感じない」方も他の施設と比べ回答数が多くなっています。



③一番近い駅とよく利用する駅

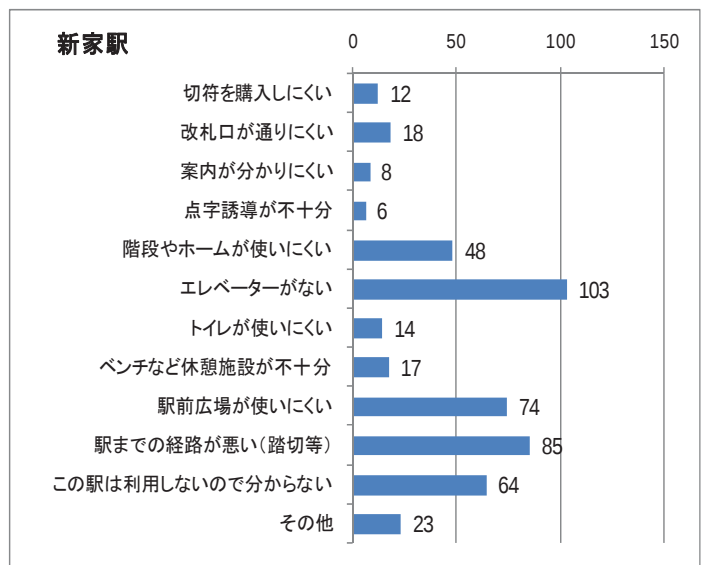
新家駅が近いと回答された方は117票となっていますが、よく利用する駅は94票と23票の差があります。そのうち22名は隣の日根野駅を利用しており、「特急・急行や快速が停車しないから」、「近くに駐車場がないから」が主な理由です。また、バリアフリー化されていないことから新家駅を利用していない方が8名おられました。



④新家駅を利用する時に困ること

新家駅を利用する時に困る事は、「エレベーターがない」が103票と最も多くなっています。

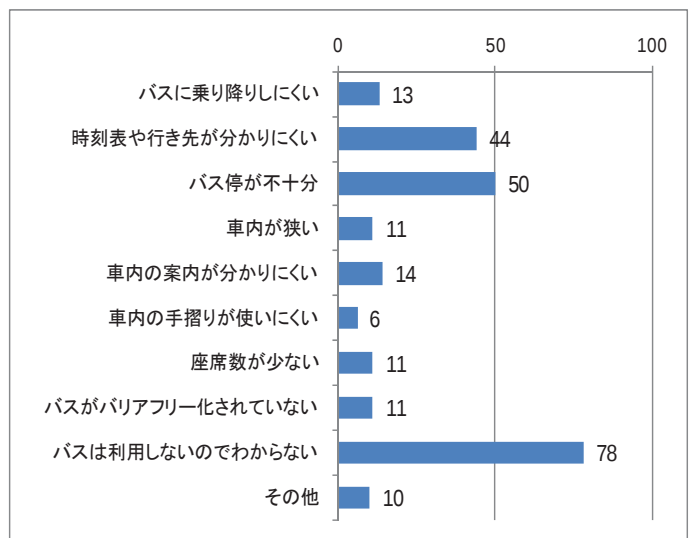
次いで、「駅までの経路が悪い（踏切等）」「駅前広場が使いにくい」と駅周辺整備についての回答が多くなっています。



⑤バスについて

バスを利用している方によると、「バス停が不十分」が50票と最も多くなっています。

次いで、「時刻表や行き先が分かりにくい」44票となっており、バス停に対して困っている方が多く、バス車両についての回答は比較的少なくなっています。

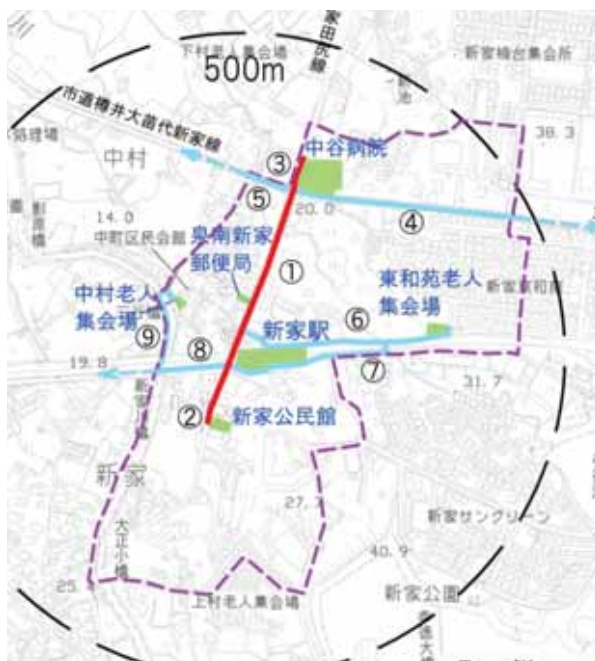


⑥新家駅周辺の主な生活関連施設を利用する時に困る事

個別の生活関連施設名を上げた回答のうち、回答者数が5票以上あった施設についてまとめました。

その結果、新家公民館と泉南新家郵便局では、「駐車場が使いにくい」が最も多く、特に泉南新家郵便局では、多くの方が駐車場を「使いにくい」と感じています。

■生活関連施設位置図

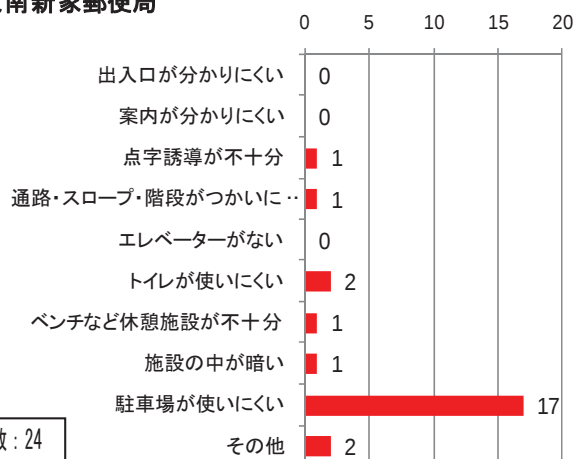


新家公民館



回答数：8

泉南新家郵便局



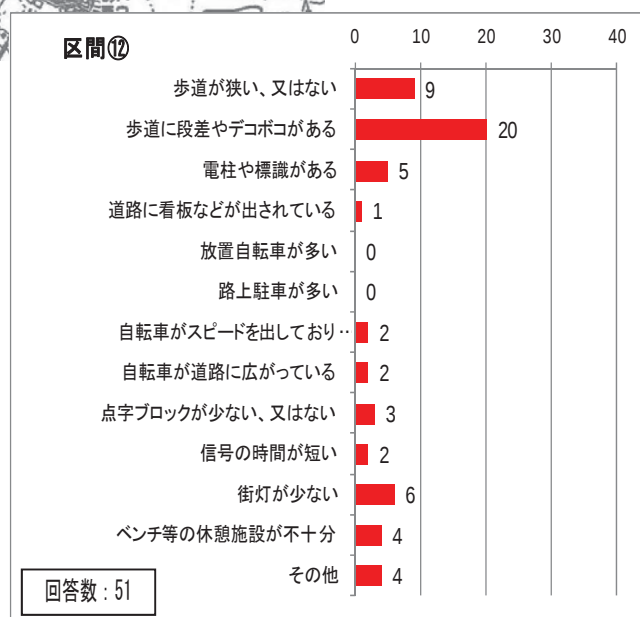
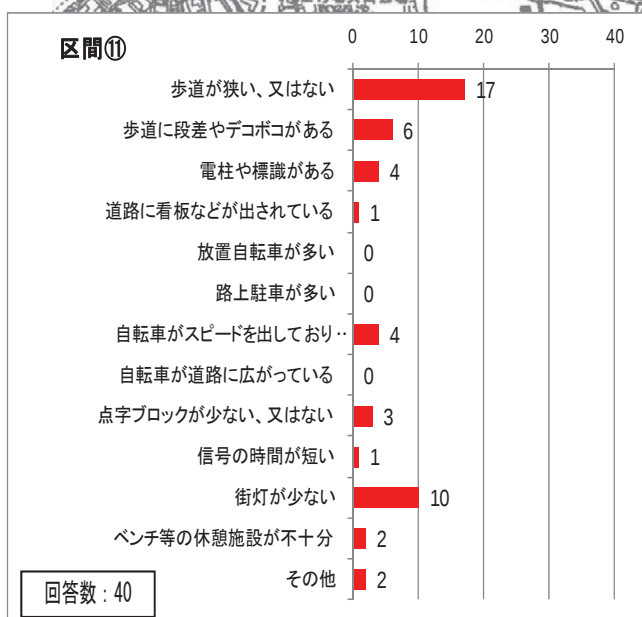
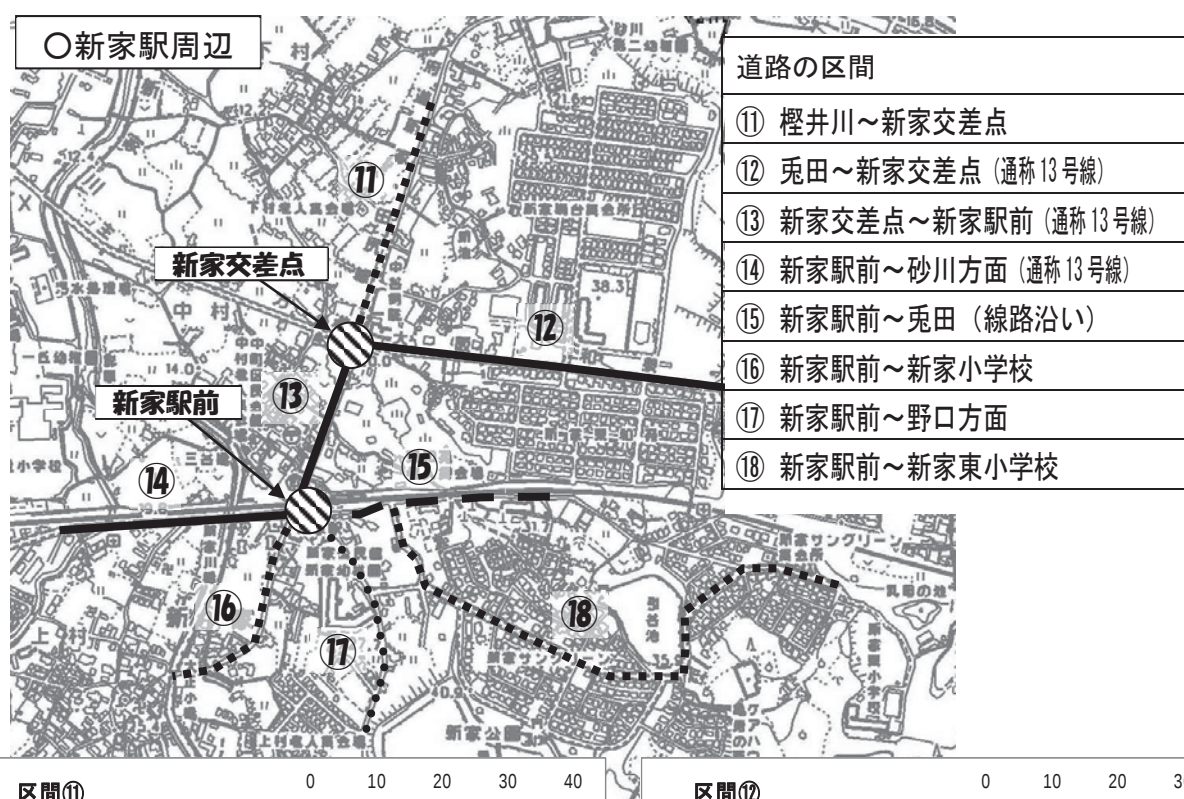
回答数：24

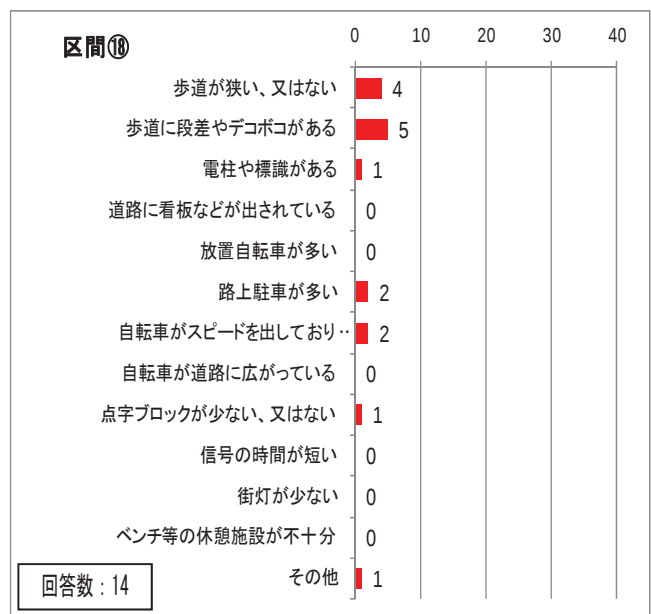
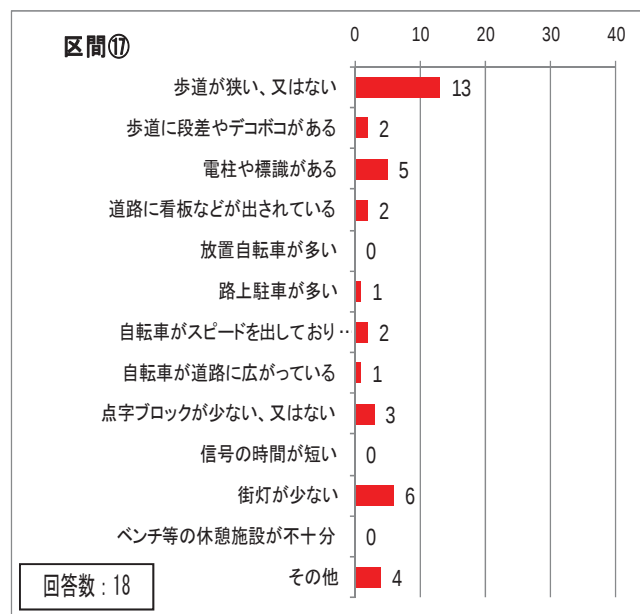
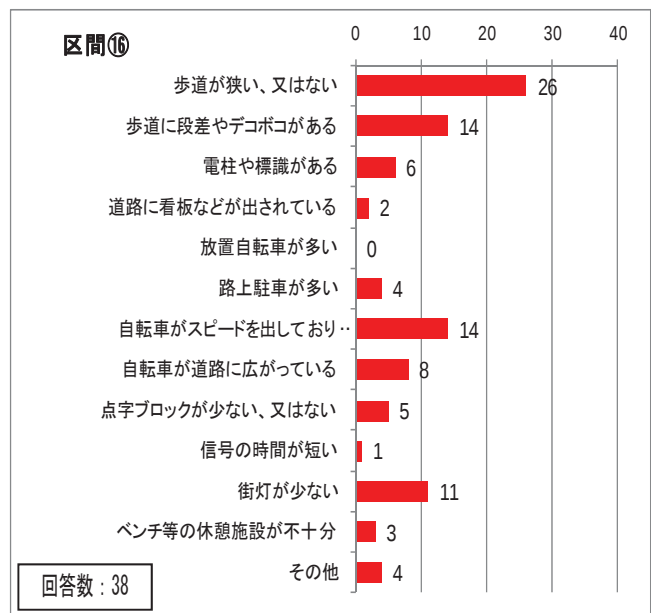
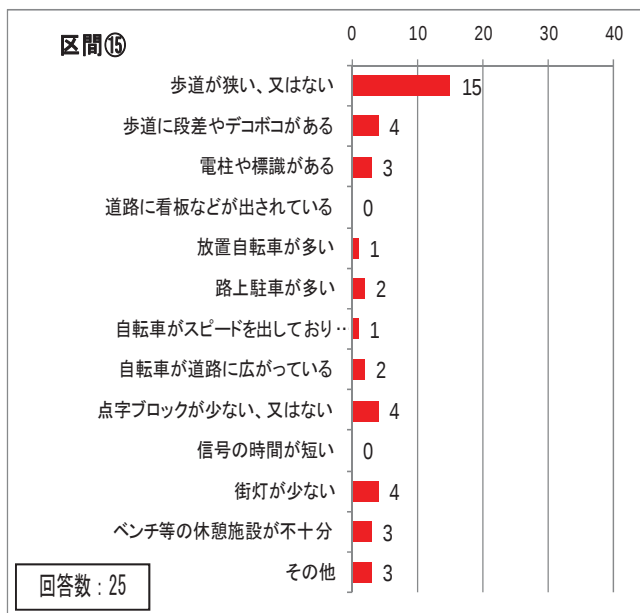
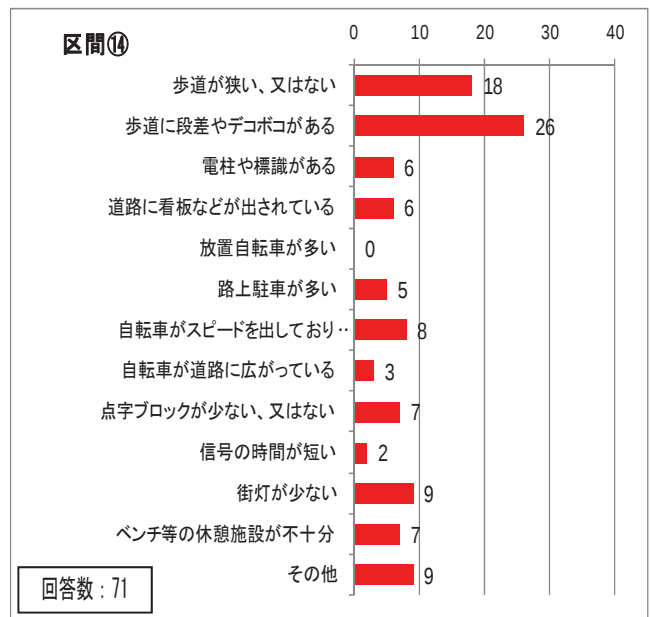
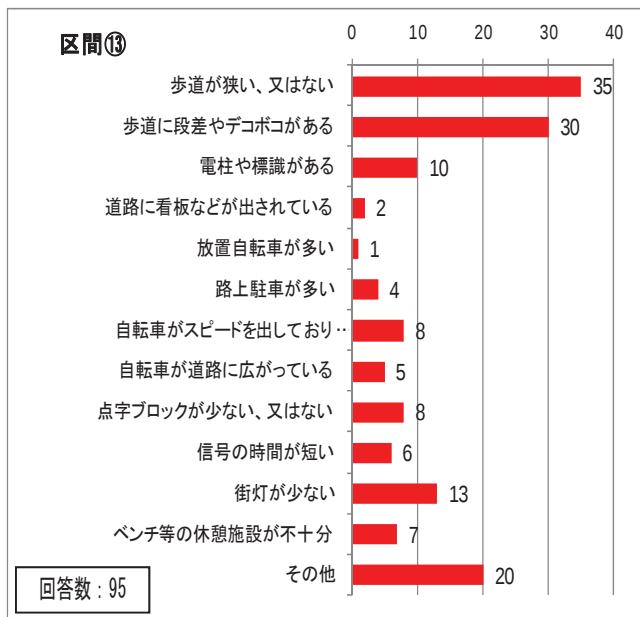
⑦新家駅周辺の道路を利用する時に困ること

各道路とも、「歩道が狭い、又はない」「歩道に段差やデコボコがある」の回答が多くなっており、区間⑫では、「歩道に段差やデコボコがある」の回答が特に多くなっています。

生活関連経路である区間⑬では、「街灯が少ない」、「電柱や標識がある」が困る事として多く回答されています。

準生活関連経路である区間⑯では、「街灯が少ない」、「自転車がスピードを出しており危険」が困る事として多く回答されています。



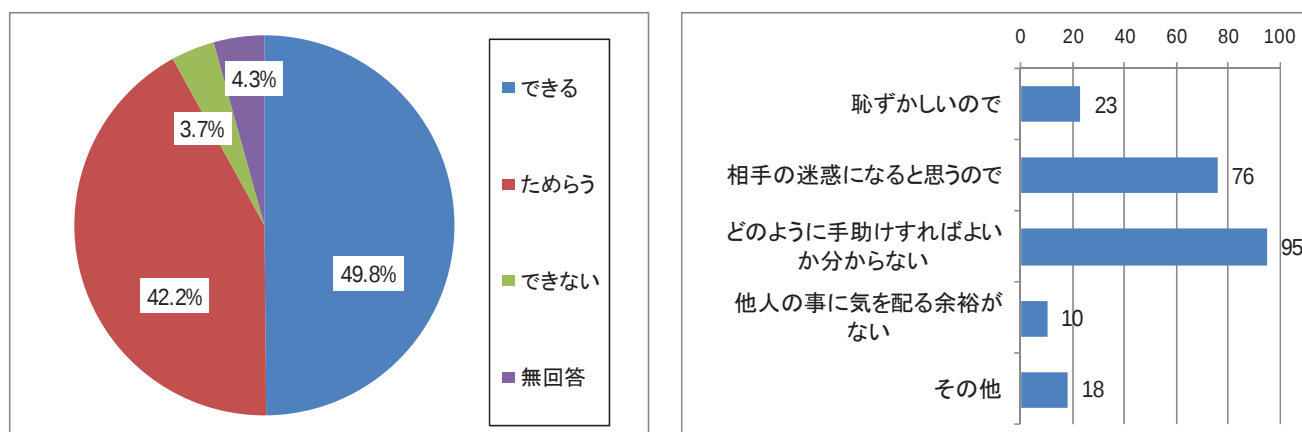


⑧心のバリアフリーについて

a) 困っている人に声をかけ、手助けをすることができるかまたは出来ない理由

「ためらうまたは出来ない」方が約45%います。

理由としては、「どのように手助けをすればよいかわからない」が95票と最も多く、次いで「相手の迷惑になると思うので」となっており、相手を気遣って手助けをためらうまたは出来ない方が多くなっています。

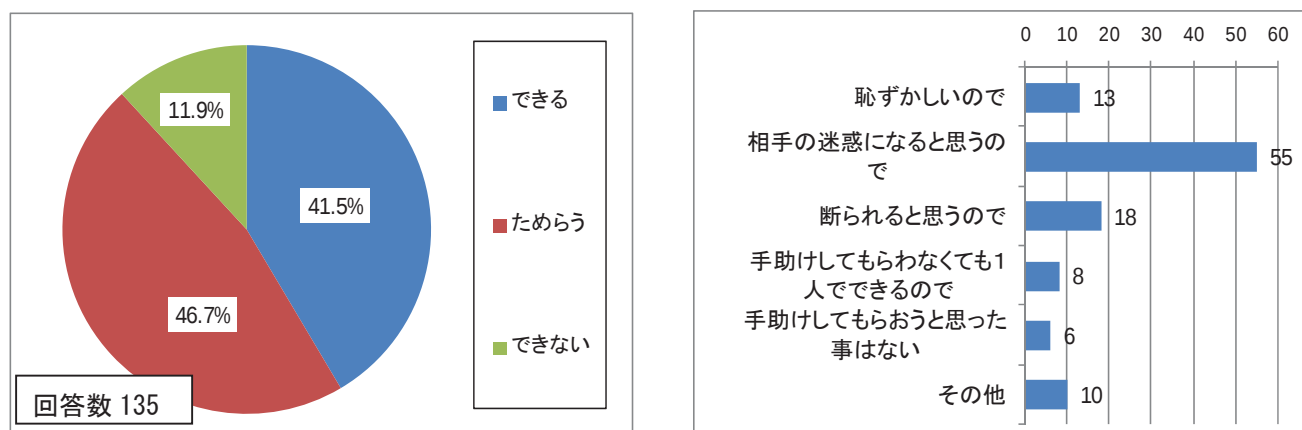


b) 困っている時に、手助けを求めることができるかまたは出来ない理由

「ためらうまたは出来ない」方が約59%となっており、手助けをためらうまたは出来ない方が多くなっています。

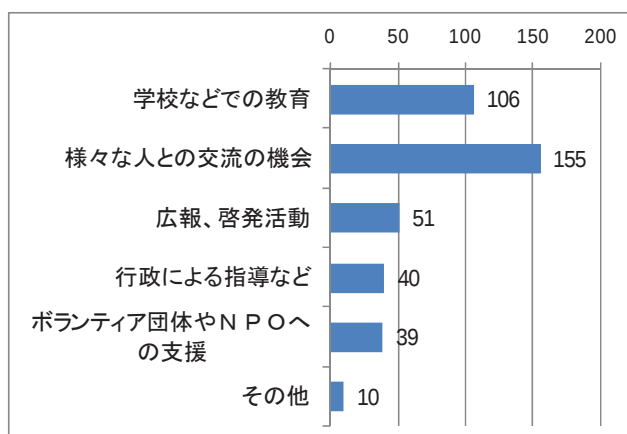
理由としては、「相手の迷惑になると思うので」が55票と最も多く、次いで「断られると思うので」となっており、こちらも相手を気遣っての回答が多くなっています。

このように、お互いが相手を気遣って手助けをためらうまたは出来ない原因となっていると考えられます。



c) 心のバリアフリーを実現するために必要なこと

「様々な人との交流の機会」が 155 票と最も多く、次いで「学校などでの教育」106 票となっており、人との交流などを通じて理解を深める事が、心のバリアフリーを実現するために必要なことであると考えられています。



心のバリアフリーとは

高齢者・障害者等の移動等円滑化を実現するためには、施設や道路などの整備（いわゆるハード整備）だけでなく、ソフト面での施策展開が必要になります。

このソフト面での施策として、高齢者・障害者等に対する理解を深め、行動につなげていくことが「心のバリアフリー」です。

アンケート結果を見てもわかるように、「お手伝いいたしましょうか」のなにげない一言が、手助けが必要な方にとってのバリアをとりのぞくきっかけとなります。

3－6．生活関連施設、生活関連経路の問題点や課題

現状、タウンウォッチング、アンケート調査の結果を踏まえ、重点整備地区の生活関連施設及び生活関連経路についての問題点や課題の整理を行いました。

主な問題点や課題は以下のようになります。

(1) 生活関連施設

1) 旅客施設など

1. 新家駅

箇所	問題点や課題
改札・券売機	・改札口が下りホーム側だけなので、現存する海側の上りホームへのスロープを利用したい。(踏切横断したくない。) ・車椅子用自動改札がない。 ・視覚障害者誘導用ブロックが分かりにくい。車椅子で通行しにくい。(旧タイプの視覚障害者誘導用ブロックがある)
階段・通路 (上りホームと下りホームの移動)	・階段の移動が大変である。(エレベーターがない) ・車椅子では、一人で移動できない。 (駅員の介助が必要であり、また、上り方面は、改札外の踏切を迂回し、門扉で管理されているスロープを利用。) ・階段の上り、下りの区別がない。
ホーム	・ホームまでのスロープがきつい。(傾斜約 15%) ・視覚障害者誘導用ブロックが分かりにくい。車椅子で通行しにくい。(旧タイプの視覚障害者誘導用ブロックがある)
情報・案内	・時刻表の文字が小さく色が薄いため分かりにくい。 ・階段での音声案内がない。(誘導チャイム) ・駅員が不在の時間がある。(12-13 時、17-18 時)
トイレ	・トイレを案内する音声誘導がない。
待合室	・ホームに待合室がない。



新家駅スロープ



新家駅改札前誘導ブロック

2. バス

箇所	問題点や課題
バス車両	・ バリアフリー対応のバスと非対応のバス（ノンステップ）がある。（コミュニティバスは対応済み） ・ 車内の案内が分かりにくい。

3. 駅前広場周辺

箇所	問題点や課題
歩道	・ 視覚障害者誘導用ブロックが分かりにくい。 ・ 駅前広場の横断歩道で車が止まらず通行できない時がある。 ・ バス停が分かりにくく場所が離れている。 ・ 駅前広場の横断歩道に音声案内がないので、視覚障害者には危険である。 ・ 改札前の舗装がガタついている所がある。 ・ 情報案内版が分かりにくい。
バス停	・ バス待ち客が利用できるベンチがない。 ・ バス停に屋根がない。



駅前の誘導用ブロック



バス停が遠く分かりづらい

2) その他主な生活関連施設

◇主な建築物特定施設のバリアフリー化状況◇

施設名	バリアフリー経路			トイレ (身体障害者用)	駐車場 (身体障害者用)
	出入口 (段差解消)	案内設備 (点字案内・視覚障害者 誘導用ブロックの設置)	エレベーター		
新家駅	○	○	×	△ オストメイト未整備	—
新家公民館	×	×	×	×	×
中村老人集会場	○	×	×	×	×
東和苑老人集会場	×	×	×	×	×
	出入口 段差有				
中谷病院	○	×	○	○	○
泉南新家郵便局	○	×	平屋	客用トイレなし	×

箇所	問題点や課題
新家公民館	・ 出入口に視覚障害者誘導用ブロックがない。 ・ 駐車車両で出入口が分かりにくい。 ・ 駐車場が使いにくい。 ・ 駐車場前の側溝のグレーチングが滑りやすい。また、グレーチングの蓋の目が粗いので杖やヒールが挟まる。 ・ 駐車場から車が出る時に見にくい。
泉南新家郵便局	・ 駐車場が使いにくい。



新家公民館



泉南新家郵便局

（２）生活関連経路・準生活関連経路など

経路① 主要地方道線大阪和泉泉南線（新家交差点～新家駅）

箇所	問題点や課題
歩道	・ 歩道幅員が狭い。 ・ 踏切付近では駅側にしか歩道がない。 ・ 歩道が乗入箇所でデコボコしており歩きづらい。 ・ 歩道の段差が高い所があり、車椅子は通行出来ない。 ・ 歩道の真ん中に電柱や車止めがあり通行しづらい。 ・ 歩道が斜めになっている区間がある。 ・ 民地との高低差が大きい区間に転落防止柵が設置されておらず危険である。 ・ 視覚障害者誘導用ブロックが設置されていない。 ・ 照明が少なく夜道が暗い。 ・ 民地の植栽が道路にはみ出している。
新家交差点	・ 交差点に音声案内がないので、視覚障害者には危険である。 ・ 視覚障害者誘導用ブロックが設置されていない。
新家南一踏切	・ 西側歩道が踏切で分断されている。 ・ 踏切の歩道幅員が狭い。 ・ 踏切の歩道路面がガタガタである。 ・ 踏切すぐに交差点があることから、車が頻繁に渋滞し歩行者が通行しにくい。



踏切西側は踏切で歩道が分断されている



植栽がはみ出し狭くなった歩道

経路② 市道新家駅宮線（新家駅～新家公民館）

箇所	問題点や課題
歩道	・歩行者と車が分離されておらず、また、車がスピードを出しており危険である。 ・歩行者空間（路側帯）の境界線（白線）が消えているところがあり、歩行者空間（路側帯）がわかりづらい。 ・舗装がはがれている所やデコボコしている所があり歩きづらい。雨の日には水溜まりができる。 ・側溝に蓋が設置されていない所があり危険である。 ・側溝のグレーチングが滑りやすく、蓋の目が粗いので杖やヒールが挟まる。 ・電柱で歩きにくい。
マナー	・駐輪場から自転車が飛び出してくるので危険である。



歩行者と車が分断されていない



公民館前のグレーチング

経路③ 府道新家田尻線（歩道未整備区間）

箇所	問題点や課題
歩道	・歩道が途切れている。



経路③ 歩道が途切れている

経路④ 主要地方道大阪和泉泉南線（新家交差点～新家東交差点）

箇所	問題点や課題
歩道	・縦断勾配が比較的急な坂が長く続く。 ・歩道幅員が狭い。 ・歩道が乗入箇所でデコボコしており歩きづらい。 ・歩道の真ん中に、電柱や車止めがあり通行しづらい。 ・歩きづらい側溝蓋の所がある。



歩きづらい側溝蓋



比較的急な坂が続く

経路⑤ 市道樽井大苗代新家線（新家交差点～新家駅筋バス停）

箇所	問題点や課題
歩道	・歩道幅員が狭い。 ・歩道が乗入箇所でデコボコしており歩きづらい。 ・バス停にガードレールがあり歩道からバスへ乗れない。



経路⑤ バス停前のガードレール



経路⑥の舗装破損箇所

経路⑥ 市道中村中線（主要地方道大阪和泉泉南線～東和苑老人集会場方面）

箇所	問題点や課題
歩道	・舗装がはがれている所やデコボコしている所があり歩きづらい。雨の日には水溜まりができる。 ・老人集会場までに急な坂道がある。 ・照明が少なく夜道が暗い。

経路⑦ 市道新家駅兔田線（新家駅～市道中村中線）

箇所	問題点や課題
歩道	・ 一部歩道が整備されていない区間があり、その区間は幅員が狭く車がすれ違う時歩行者が危険である。 ・ 側溝に蓋がなく危険である。 ・ 照明が少なく夜道が暗い。



経路⑦の歩道未整備区間

経路⑧ 主要地方道大阪和泉泉南線（新家駅～新家川橋交差点）

箇所	問題点や課題
歩道	・ 歩道が乗入箇所でデコボコしており歩きづらい。 ・ 急な坂道がある。 ・ 生活関連施設の場所が分かりにくい。

経路⑨ 市道下村大口線（新家川橋交差点～中村老人集会場）

箇所	問題点や課題
歩道	・ 新家駅までの行き方が分かりにくい。 ・ 照明が少なく夜道が暗い。



経路⑧の坂道



経路⑨ 川沿いの道路